令和7年8月6日

報道機関各位

住居確保給付金に係る勧奨通知の誤送付について

住居確保給付金の給付期間延長を希望した方に対し、申請を勧奨するため家庭訪問しましたが、誤って他家を訪問し手交したことが判明しました。

ご迷惑をお掛けした方に対し、深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

1 事業（住居確保給付金）の内容

離職・廃業した人、または休業等により収入が減少し、離職等と同程度にある人であって就労能力及び就労意欲のある人のうち、住宅を喪失している人又は喪失するおそれのある人を対象として住宅費を支給する制度です。

2 対象件数

1件

3 経過

7月8日18:30頃、職員が本人住所を訪問し、在宅していた家人に本人宅であることを確認した上で勧奨通知を手交しましたが、後日本人から別人の家に配達されたとの訴えを受け確認したところ、職員が訪問したのは同アパートの別棟の別人宅であったことが判明したものです。

4 原因

訪問前に地図により所在地を確認しましたが、建物が2棟あることを見落とし1棟だけと認識し別棟を訪問したこと、訪問した際対応に出た家人に本人宅であるかを確認したところ「はい」と返答があったことによるものです。

5 本市の対応

- (1) 7月10日以降複数回電話や書面によりご本人に対面での謝罪と説明を申入れ、8月5日（火）にご本人と面談、誤送付により個人情報の漏洩が生じたことをお詫びし、誤送付に至る経過について説明しました。
- (2) 今後は、複数名にて確認を行い、適正な事務処理と個人情報の管理に努めます。

（事務担当）

小名浜地区保健福祉センター 庶務係
電話 0246-54-2111